

中部経済新聞

2016年(平成28年)

9月27日
火曜日

商品開発と販路開拓学ぶ

県産振興センター 新ビジネス応援セミナー

【岐阜】岐阜県産業経済センターは、このほど、岐阜市のふれあい福寿会館で、商品開発・販路開拓の

講演する田中課長



開発テーマを設定する。理性と感性を融合して売れる商品を開発する。ヒットしている商品は、ターゲットが明確、コンセプト・顧客利益・使用シーンが明確、売り方がユニーク」と、商品開発と販路開拓のポイントを解説した。

第2部では、関市の義春刃物の田中淳也企画課長が

手法を学ぶ「新ビジネス展開応援セミナー」を開催した。県内企業の商品開発責任者ら約60人が参加。新商品のコンセプトづくりから販売促進までのプロセスを学んだ。

第1部では、K-MAXコンサルティングの河合正嗣代表が講演した。

河合氏は「生活者さえ気づかないニーズを探って、

同社は開発にあたり、インターネットを介して不特定多数の人から資金を幅広く調達する「海外クラウドファンディング」を活用。低コストで海外販路の開拓に活用した事例に対して、

参加者は熱心に耳を傾けていた。